

ソーシャルワーク基礎実習指導

[講義・演習] 第2学年 通年 必修 1単位

《担当者名》 近藤 尚也 n-kondo@hoku-iryo-u.ac.jp 巻 康弘 奥田 かおり 中田 雅美 松本 望 片山 寛信
(主担当者、○副担当者)

【概要】

8月に実施される5日間のソーシャルワーク基礎実習に対する事前・事後教育の科目である。基礎実習に必要な知識や態度について学び、基礎実習、実習報告会等を通してソーシャルワークの概要を理解する。それをふまえて、3学年のソーシャルワーク実習への備えを進めていく。

【学修目標】

ソーシャルワークのイメージを明確にする。
福祉サービスを必要とする方のニーズを知る。
福祉や医療の実践現場で働くソーシャルワーカーの業務内容を知る。
ソーシャルワークの魅力と概要が説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 全体指導	オリエンテーション ソーシャルワーク基礎実習分野について知る。 ソーシャルワーク基礎実習機関について知る。	巻、奥田、中田、近藤、 松本、片山
2	全体指導	実習配属先報告及び最終調整を行い、自らの実習先を確定する。 事前訪問に必要な態度などを理解する。 (電話のかけ方、訪問時のマナー等)	巻、中田、近藤、松本、 片山
3	グループ指導 事前学習	実習分野と実習先に関する事前知識を理解する。 実習先への事前訪問において必要な事柄について理解する。 (実習への抱負レポート作成指導など)	巻、奥田、中田、近藤、 松本、片山
4	グループ指導 事前学習	実習分野と実習先に関する事前知識を理解する。 事前訪問を踏まえ実習に向けた学習を行う。	巻、奥田、中田、近藤、 松本、片山
5	全体指導 実習前最終指導	実習日誌の記載方法を理解する。 実習生に求められる個人情報保護について理解する。 実習生に求められる態度(出退勤管理、お礼状など)について理解する。	巻、中田、近藤、松本、 片山
6	全体指導 事後指導	実習生に求められる態度の実行状況について確認する。 実習アンケート記入を通じ実習体験を振り返る。 実習報告会の内容及び自主的運営のあり方について理解する。 (報告会運営委員の選出と打ち合わせ)	巻、中田、近藤、松本、 片山
7	グループ指導 事後学習	個別の実習体験をグループで振り返り、体験を共有化する。 実習体験からソーシャルワークのイメージを明確にする。 報告会の運営準備について確認する。	巻、奥田、中田、近藤、 松本、片山
8	グループ指導 事後学習	個別の実習体験をグループで振り返り、体験を共有化する。 ディレンマ体験について言語化する。 実習報告会において報告する原稿・報告集の作成・報告会に向けたスケジュールの調整を行う。 報告会の運営準備を行う。	巻、奥田、中田、近藤、 松本、片山
9	グループ指導 事後学習	個別の実習体験をグループで振り返り、体験を共有化する。 実習の自己評価について確認する。 実習報告会において報告する原稿・報告集を作成する。	巻、奥田、中田、近藤、 松本、片山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		報告会の運営準備を行う。	
10	ソーシャルワーク実習の概要理解	ソーシャルワーク実習の概要を理解する。 ソーシャルワーク実習の実習分野及び機関について理解する。	巻、中田、近藤、松本、片山
11	実習報告会リハーサル	実習報告会の運営準備、リハーサル	近藤、松本、片山
12	実習報告会	ソーシャルワーク実習報告会	巻、奥田、中田、近藤、松本、片山
13	ソーシャルワーク実習の概要理解	SW実習配属調整ガイダンス（配属先調整） ソーシャルワーク実習配属依頼先調整を通し、実習分野への関心を明確化し、自らの実習先を調整する。	巻、中田、近藤、松本、片山
14	ソーシャルワーク実習の概要理解	SW実習配属調整ガイダンス ・ソーシャルワーク実習配属依頼先調整を通じ実習分野への関心を明確化し、自らの実習配属依頼先を決定する。 ・実習コンピテンス・アセスメントの概要について理解する。	巻、中田、近藤、松本、片山
15	ソーシャルワーク実習の概要理解	SW実習配属調整ガイダンス（配属依頼結果確認） ・ソーシャルワーク実習配属先を決定し、施設機関理解に向けた学習課題を理解する。	巻、中田、近藤、松本、片山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による。

【評価方法】

評価方法：課題等を総合して評価を行う。

授業態度 70%(全体指導40%、グループ指導30%)

各種提出物の内容 30%（指定されたものすべての提出がない場合0点とする）

【教科書】

社会福祉実習要綱、社会福祉実習の手引き（講義時に必ず持参すること）

「保健医療機関における社会福祉実習～実践的実習マニュアル～」北海道医療ソーシャルワーカー協会（保健医療分野実習学生のみ）

【参考書】

必要に応じて提示する。

【備考】

提出物は必ず「社会福祉実習室」に備える当該提出物ボックスに提出すること（別途指定を除く）

本科目とソーシャルワーク基礎実習は重要な連動があるため、単位認定も原則連動することとなる。

【学修の準備】

毎回次の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。特に実習を行う分野、機関に関連することは実習の手引きやインターネットにて調べる（80分）。

グループでの実習報告会に先立ち、自らの体験・学びをまとめておくこと（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,3

【実務経験】

巻 康弘（社会福祉士）奥田 かおり（ソーシャルワーカー）中田 雅美（社会福祉士）松本 望（社会福祉士）片山 寛信（社会福祉士）近藤 尚也（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉士、ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。